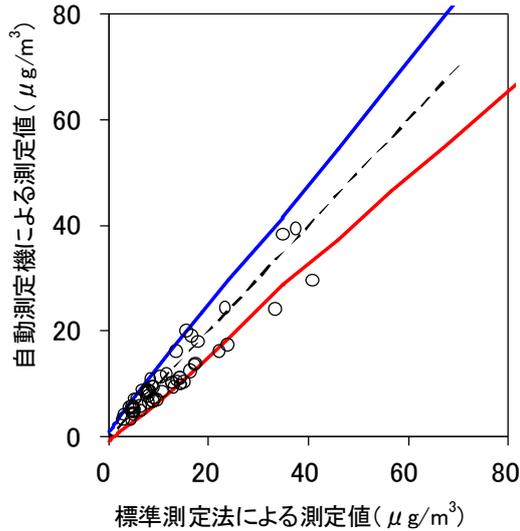


③ TEOM1405DF (Thermo Fisher Scientific)

A : グループごとに P_R を最大化する方法

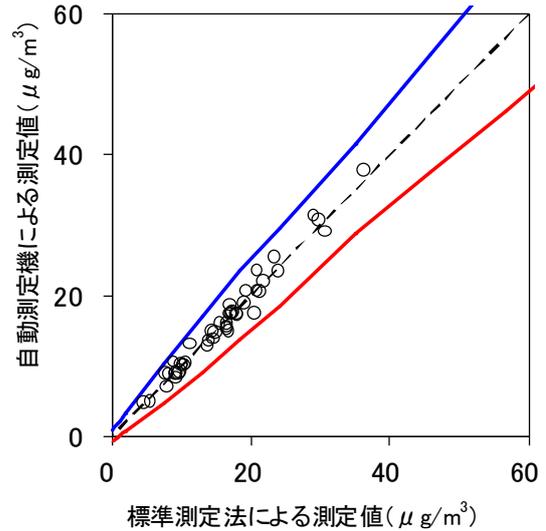
グループ 1 による評価

機種名	1405-DF・冬季
有効測定日数	97
自動測定機の有効データ数	56
ハズレ値の個数	6
r	0.8
K	1.843
傾き	0.84



1405-DFの冬季における管理限界線との関係

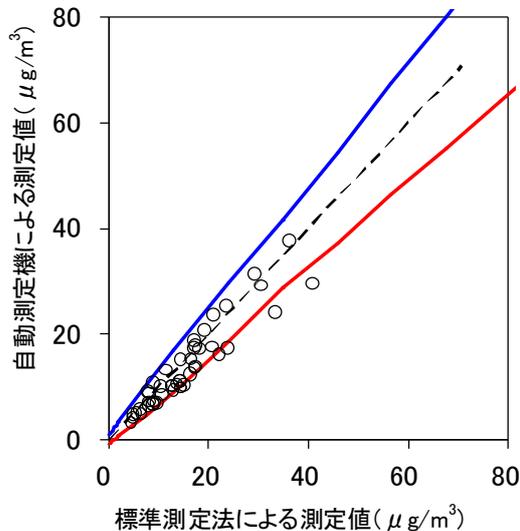
機種名	1405-DF・夏季
有効測定日数	72
自動測定機の有効データ数	46
ハズレ値の個数	0
r	0.7
K	1.837
傾き	1.03



1405-DFの夏季における管理限界線との関係

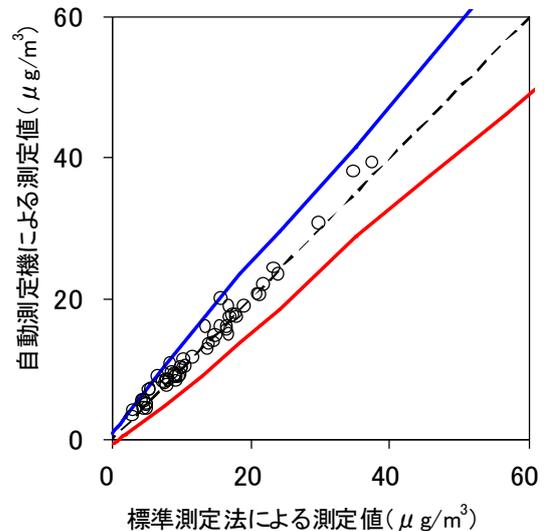
グループ 2 による評価

機種名	1405-DF・都市部
有効測定日数	86
自動測定機の有効データ数	47
ハズレ値の個数	5
r	0.7
K	1.847
傾き	0.88



1405-DFの都市部における管理限界線との関係

機種名	1405-DF・非都市部
有効測定日数	83
自動測定機の有効データ数	55
ハズレ値の個数	1
r	0.8
K	1.835
傾き	1.02



1405-DFの非都市部における管理限界線との関係

B : グループごとに P_R を固定する方法

(1) $\alpha = \alpha'_1$ の場合

グループ 1 による評価
なし

グループ 2 による評価
なし

(2) $\alpha = \alpha'_2$ の場合

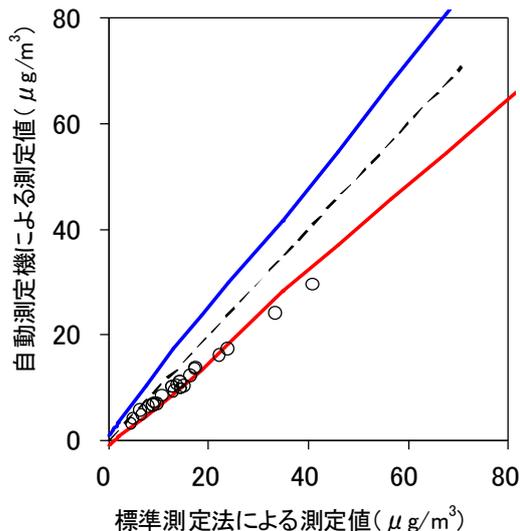
グループ1による評価
なし

グループ2による評価
なし

C: フィールドごとに P_R を最大化する方法

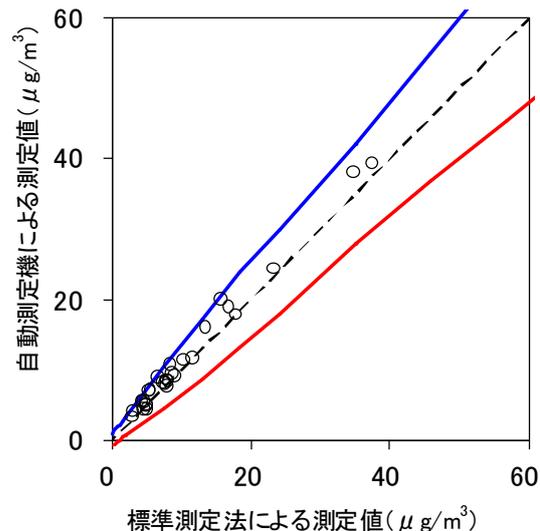
フィールドごとによる評価

機種名 1405-DF・都市部(冬)	
有効測定日数	49
自動測定機の有効データ数	26
ハズレ値の個数	4
r	4
K	1.943
傾き	0.71



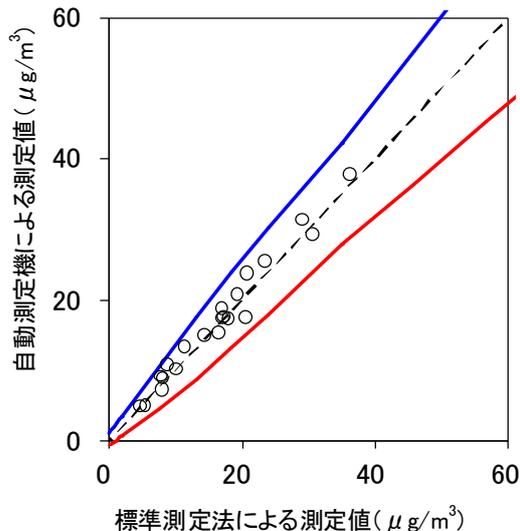
1405-DFの都市部(冬)における管理限界線との関係

機種名 1405-DF・非都市部(冬)	
有効測定日数	48
自動測定機の有効データ数	30
ハズレ値の個数	0
r	4
K	2.007
傾き	1.06



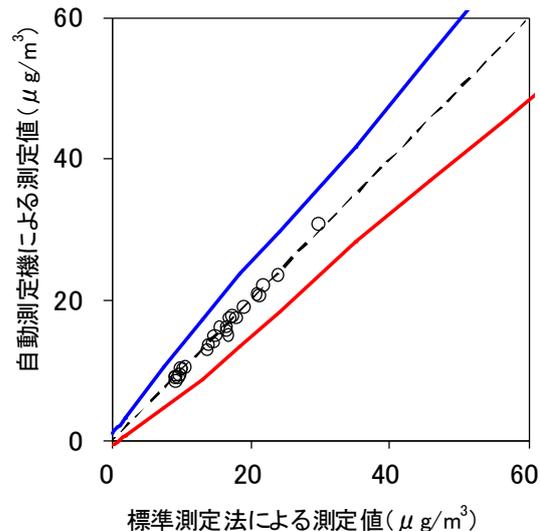
1405-DFの非都市部(冬)における管理限界線との関係

機種名 1405-DF・都市部(夏)	
有効測定日数	37
自動測定機の有効データ数	21
ハズレ値の個数	0
r	3
K	2.040
傾き	1.02



1405-DFの都市部(夏)における管理限界線との関係

機種名 1405-DF・非都市部(夏)	
有効測定日数	35
自動測定機の有効データ数	25
ハズレ値の個数	0
r	4
K	1.925
傾き	1.03



1405-DFの非都市部(夏)における管理限界線との関係

D : フィールドごとに PR を固定する方法

(1) $\alpha = \alpha'_1$ の場合

フィールドごとによる評価
なし

(2) $\alpha = \alpha'_2$ の場合

フィールドごとによる評価
なし